

第 5 回 道徳教育推進助成 公益財団法人上廣倫理財団

人格形成を目的とする学校教育において、道徳教育はその中心として位置付けられています。さらに、急激な社会変化の中において、道徳教育は、将来社会へと出て行く子どもたちが、自ら主体的に、希望を持って生きることができるように、学力形成とともに取組の充実を図ることが求められています。

全国の各学校においては、地域人材の参加・協力や体験活動を生かした道徳教育の推進等、多様な形での取組みが期待されています。これらの実践研究をより強力に推進していただけるよう応援すべく、道徳教育推進助成を実施いたします。

<道徳教育推進助成と助成内容について>

道徳教育推進助成は、各学校が、道徳教育における実践研究のテーマを掲げ、その実践研究計画を募集いたします。掲げたテーマに対し、成果をあげていただくことを期待しています。

助成金は、2年間の実践研究に対して 30～50 万円を助成いたします。(目安として大規模校 50 万円、適正規模校 30～40 万円、小規模校～30 万円) 期間は原則的に2年間です。

費用は、道徳教育を推進する研修の成果をまとめる報告書の作成や送付代、教師用指導資料、副読本購入、研修の講師謝礼、教員の出張研修旅費、また特色のある地域資料の作成費や活動の費用にも活用いただきます。

<研究テーマ> 道徳教育に関わる実践研究テーマは自由ですが、例として下記を示します。

なお、道徳の時間の指導は、どのテーマのなかでも推進をお願いいたします。

- 例) ①体験的な学習等を有効に活用した道徳教育
②「道徳科」に関わる授業研究、評価の研究など
③教材・資料開発
④地域の伝統や文化に根ざした道徳教育・地域の人材を生かした道徳教育
⑤生命尊重を重点とした道徳教育
⑥特別活動、総合的な学習の時間、各教科と連携した道徳教育
⑦キャリア教育や規範意識を高める等を課題とした道徳教育
⑧教科の時間を活用した道徳の時間

<助成件数>

10～15 件程度

<応募資格>

小学校、中学校、特別支援学校

学校単位、もしくは学校長の承認を受けた、学校内での5名以上のグループの研究を支援いたします。

＜応募期間＞

平成28年11月4日（金）～平成29年1月20日（金）まで（当日必着）

＜応募方法＞

所定の「申請書」に必要事項を記入し、当財団「道徳教育推進助成係」まで郵送ください。

「申請書」は当財団ホームページ（http://www.rinri.or.jp/moral_education07.html）よりダウンロードできます。FAX、E-mailでの申請は受け付けませんのでご注意ください。

＜助成の決定＞

申請内容に基づき、選考委員による審査を経て、助成を決定いたします。

平成29年～30年度助成の結果は、2月下旬～3月中旬に郵送で通知いたします。

＜助成金の交付＞

助成金は、3月中に交付いたします。

＜実践研究の報告＞

助成を受けた方には、助成金によって実施した活動・研究に対する「報告書」（A4で5枚程度、助成金使用報告は当財団指定様式有）を提出していただき、「報告書」は当財団ホームページに公表いたします。

また、助成期間終了後、財団主催の研修会等にて、研究成果のご発表を要請する場合があります。

＜スケジュール＞

（平成29年度～30年度分）

申請受付 平成28年11月4日～1月20日

助成の決定 3月中旬

助成期間 平成29年4月1日から2年間

報告書提出 平成31年3月31日

＜選考委員＞

渡邊弥生（法政大学教授）

金子雅彦（全国小学校道徳教育研究会会長） 賞雅 技子（全日本中学校道徳教育研究会会長）

＜後援＞ 全国小学校道徳教育研究会、全日本中学校道徳教育研究会

道徳教育研修講師派遣・情報提供についてのご案内

1. 当財団の道徳教育講師派遣を利用して、研修を実施することも可能です。講師の情報提供・選定、及び旅費、交通費を支援いたします。
講師は、全国で道徳教育を長年推進してきた研究者、元校長や道徳授業のベテランと呼ばれる教員です。
特に、研究の報告書作成について、助言や指導をご希望の場合は、当方より積極的に講師を派遣いたしますので、ぜひご活用下さい。
2. 本道徳教育推進助成の実践研究の成果である報告書を、財団ホームページに掲載していく予定です。また、当財団事業、上廣道徳教育賞を受賞した実践研究論文をまとめた論文集（有償配布）からも、幅広く研究情報を参考にできます。

公益財団法人上廣倫理財団は、倫理に関連する学術研究、教育活動の振興を目的として下記の事業を行っております。

●生涯学習事業

人の生き方や歴史などをテーマとする各種フォーラムの開催、教育委員会・PTAなどが実施する生涯学習事業への講師派遣。

●学校教育事業

道徳教育の振興を目的に、シンポジウム、研究会等の開催、道徳教育賞の授与および道徳教育関連団体への活動助成。

●表現教育事業

子どもたちの表現能力を育成するための感動作文コンクール、りんり俳句大賞の実施。

●国際教育事業

米国カーネギーカウンシル、英国オックスフォード大学との共催による倫理に関する国際会議を定期的で開催。

●研究助成事業

東京大学をはじめ、日本国内及び海外の高等教育機関における広義の倫理及びその関連分野の研究に対する助成の実施。